

目次

■ 2014年のロシア石油産業	1
■ 統計速報	6
2015年1～2月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／6	
2015年1～2月の日ロ貿易／7	
■ モスクワほっとニュース	8
古き良きモスクワの散策(4):オスタンキノ・タワー／8	
■ エトセラ	10
ロシア工業団地協会セミナーのご案内／10	
■ トピックス	10
ミキハウスがロシア2号店を出店／10	
三井物産、ロシアに工場をもつトルコ容器メーカーに出資／10	

2014年のロシア石油産業

はじめに

本速報では、ロシアの業界紙『石油ガス垂直統合』誌より、2014年のロシア石油企業の原油生産量、精製量に関するデータを抜粋しご紹介する。

近年のロシアの原油生産量は、2008年に一時的に減少したものの、現在までのところ、増加傾向が続いている。2014年の原油生産量は5億2,672.9万tに達し、前年比で0.7%増加した。

2014年の各社の原油生産動向をみると、ロスネフチの原油生産量は前年比0.9%減少し1億9,090.0万tとなり、続いてルクオイル:8,657.1万t(0.1%減)、スルグトネフチェガス:6,142.5万t(0.1%減少)、ガспロムネフチ:3,363.5万t(4.6%増)などとなった。

原油生産全体に占める各社のシェアはおおむね前年と同様の水準となり、ロスネフチの36.2%を筆頭に、ルクオイル:16.4%、スルグトネフチェガス:11.7%、ガспロムネフチ:6.4%などとなった。

2014年の石油の精製量をみると、ロシア全体の石油精製量は2億8,894.9万tで前年比6.0%の増加となった。また、各社の精製量をみると、ロスネフチは7,699.4万tで前年比1.9%の増加であり、続いてルクオイル:4,510.4万t(0.1%増)、ガспロムネフチ:3,204.8万t(2.4%増)、バシネフチ:2,166.4万t(1.2%増)となった。